

# 2) 河川事業の報告案件の一覧

修正箇所

河川及びダム事業の再評価実施要領細目 第6の規定に基づく報告案件一覧

NO.	県名	事業名	前回評価	事業評価の理由	事業期間	事業の進捗状況		総事業費（億円）				費用便益分析（B/C）				審議結果			
						進捗率 (事業費パーセント)	事業の諸元	前回	今回	(主な増減理由) ①数量精査による増減 ②新規地区の追加による増 ③労務費等の上昇に伴う増 ④消費税率の変更に伴う増 ⑤その他( )	全体事業		残事業		(分析項目) ①資産データ・評価額の更新 ②治水経済調査マニュアルの改訂 ③その他( )				
											前回	今回	前回	今回					
再評価																			
1	宮城	鳴瀬川直轄河川改修事業	R1	再評価の実施の必要が生じた事業 (河川整備計画の変更)	28年 (R5~R32)	—	・遊水地の整備 ・堤防の整備 ・河道掘削 他	—	1,157	⑤その他（気候変動・令和元年東日本台風対応の河川整備計画変更に伴う整備内容の変更）				—	6.6	—	—	①評価基準年の変更、評価期間の変更、家屋や農作物などの資産評価額の更新に伴う変更、河道評価年次の変更 ②マニュアル改訂による農地、ゴミ処分の評価の更新	○事業の継続は妥当と判断する。
					30年 (H19~R18) (※参考)	51% (※参考)		1,096 (※参考)			7.1 (※参考)								
2	岩手・宮城	北上川総合水系環境整備事業	R2	再評価の実施の必要が生じた事業 (北上川上流部自然再生のモニタリングが完了)	39年 (H4~R12)	91%	【北上川上流（岩手県）】 ・水辺整備 14地区 ・自然再生 1地区 【北上川下流（宮城県）】 ・水辺整備 10地区 ・自然再生 1地区	115.0	115.0	【増減なし】				3.4	3.2	5.3	9.1	①評価基準年の変更 【約56億円の便益増（現在価値化後）】	○事業の継続は妥当と判断する。
3	秋田	雄物川総合水系環境整備事業	H29	再評価実施後一定期間（5年間）経過	32年 (H8~R9)	97%	・水辺整備 6地区 ・自然再生 1地区	33.0	33.6	①自然再生におけるモニタリング期間の延長に伴う増 ④消費税の増 【約0.6億円の増】				8.2	8.2	47.4	41.7	①評価基準年の変更 【約160億円の便益増（現在価値化後）】	○事業の継続は妥当と判断する。

※参考：鳴瀬川直轄河川改修事業の事業期間をH19～R18からR5～R32に変更したため、前回評価の事業期間・進捗率・総事業費・費用便益分析は参考値として記載している。

# 3) 河川事業の報告案件の費用対効果分析結果

修正箇所

## 6. 事業の投資効果

北上川総合水系環境整備事業  
第18回北上川水系河川整備学識者懇談会資料より抜粋

### 【費用便益比】

- 全体事業の費用便益比(B/C)は3.2、残事業は9.1、完了地区は2.3と算定。いずれも1を上回っていることから投資効率性が良い結果となっています。
- 投資効率の感度分析では、全体事業及び残事業ともに1.0を上回っています。  
【全体事業:B/C=2.9~3.6、残事業:8.2~10.1】

### 【費用便益比 (B/C) の算出】

		今回の評価(R4)			前回の評価(R2)		
		全体事業	残事業	完了地区	全体事業	残事業	完了地区
費用	総費用C	253.5億円	13.0億円	173.9億円	226.5億円	66.1億円	141.9億円
	建設費	231.7億円	12.0億円	157.0億円	206.6億円	61.5億円	127.1億円
	維持管理費	21.8億円	1.1億円	16.9億円	19.9億円	4.6億円	14.8億円
効果	総便益B	823.7億円	119.0億円	403.8億円	767.4億円	351.8億円	314.6億円
	便益	821.9億円	118.9億円	402.5億円	765.8億円	351.4億円	313.4億円
	残存価値	1.75億円	0.08億円	1.29億円	1.59億円	0.39億円	1.19億円
費用対便益比(CBR) B/C		3.2	9.1	2.3	3.4	5.3	2.2
純現在価値化(NPV) B - C		570.1億円	106.0億円	229.9億円	540.9億円	285.7億円	172.8億円
経済的内部収益率(EIRR)		11.33%	30.53%	10.33%	11.62%	14.07%	10.25%

注: 表示桁数の関係で計算値が一致しないことがある

### 【感度分析 (全体事業)】

	基本 ケース	残事業費変動		残工期変動		便益変動	
		+10%	-10%	+10%	-10%	+10%	-10%
総費用C(億円) (現在価値)	253.5	254.7	252.3	253.4	253.7	253.5	253.5
総便益B(億円) (現在価値)	823.7	823.7	823.7	818.3	823.2	905.9	741.5
費用便益比 B/C	3.2	3.2	3.3	3.2	3.2	3.6	2.9

### 【感度分析 (残事業)】

	基本 ケース	残事業費変動		残工期変動		便益変動	
		+10%	-10%	+10%	-10%	+10%	-10%
総費用C(億円) (現在価値)	13.0	14.2	11.8	12.9	13.2	13.0	13.0
総便益B(億円) (現在価値)	119.0	119.0	119.0	115.0	118.9	130.9	107.1
費用便益比 B/C	9.1	8.4	10.1	8.9	9.0	10.0	8.2

表中の赤字: 費用便益比が最大、表中の青字: 費用便益比が最小